

令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業
番号

19

事業区分	行政事務	事務事業評価の履歴					有
事務事業名	保育所運営事業						
予算科目	3 款 2 項 4 目						
予算事業名	児童福祉施設運営費						
総合計画での位置づけ	安心な子育て環境をつくる						
担当課	福祉課	担当課長	稲永 みき				
事業担当者	城戸 智美		一次評価者	阿部 哲也			
事業の性格	自治事務						
法令根拠等	子ども・子育て支援法、児童福祉法、久山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例						
事業の対象	就労等により家庭保育ができず、保護者の申請により保育所での保育が必要と町が認定した子ども。						
事業の目的	乳幼児の保護者が仕事や病気・出産介護などの理由で、家庭で子どもの保育ができない場合に、保護者に代わって保育を行い、子どもを心身ともに健やかに育てながら子育て家庭を支援する。						
実施期間	開始年度	平成 17 年度から					
	終了年度	令和 年度まで					
事業の内容	家庭で保育ができず、保育所での保育を必要とする保護者からの申込みにより、0歳から就学前までの乳幼児を保育の必要性の高い順に入所を決定し、町立ひさやま保育園杜の郷において保育を行う。 社会福祉法人に運営を委託している。						
目的達成の指標	保育内容満足度(%)						
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度	
	目標	人	95	98	98	100	
	実績	人	96	92			
指標設定の考え方	町内に1園しかない認可保育所において保育内容に対する満足度を把握することで、研鑽し園と共有のうえ次年度への見直しを図る。						
事業遂行時懸案事項等	育休中の方の1歳未満での復職やいわゆるグレーゾーンである発達に不安がある子どもが増えており、子ども同士、親同士のトラブルの引き金にもなっており、園の人的負担がかなり大きくなっている。						
事業実施時懸案事項対応等	グレーゾーンや発達に不安がある子どもについては今後も増加傾向にあると思われるため、本人のため、周りの子どものためにも安心できる場の提供が必要であるため、クールダウンの部屋の増設を実施する。						

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 18,960 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	0.31	0.37	0.37	0.37
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	2,278	2,795	2,640	2,640
事業費	直接事業費	161,474	167,144	149,915	150,000
	人件費	2,278	2,795	2,640	2,640
	合計	163,752	169,939	152,555	152,640
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	42,000	30,000	14,400	14,400
	一般財源	121,752	139,939	138,155	138,240
合計	163,752	169,939	152,555	152,640	

事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目標	161,474	167,144	149,915	150,000	
実績	137,821	135,063			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
4月1日付入所児童数	人	125	125	125	125
		121	126	123	
4月1日付待機児童数	人	0	0	0	0
		1	21	28	
年度末入所児童数	人	140	140	140	140
		135	137		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 15,395 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	0.31	0.37	0.37
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	2,227	2,795	2,919
事業費	直接事業費	137,821	167,144	135,063
	人件費	2,227	2,795	2,919
	合計	140,048	169,939	137,982
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	地方債		0	
	その他	43,896	30,000	28,764
	一般財源	96,152	139,939	109,218
合計	140,048	169,939	137,982	

実施備忘録

自己評価	評価者	城戸 智美
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		D
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	2	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	2	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	2	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	A
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

事業の必要性は年々高くなっており、国も重点項目としており、なくてはならない事業のひとつである。指定管理者である社会福祉法人とは連携も図れており、保育内容について利用者の満足度も高く、有効な運営が図れているが、国の政策による女性の社会進出と保育所運営単価(公定価格)の増により、事業費の増が著しく、公立扱いである現在の公設民営という運営方法では一般財源の負担が大きい。完全民営化もひとつの道として検討の必要がある。

課題であった発達に不安のある子どもの対応については、自身の子どもの発達不安について保護者が受容できない場合も多く、相談室及び子どものクールダウンの場所として部屋を増設した。発達に不安を抱える子ども自身が一時的にクールダウンして安心できる場所を確保できたこと、また、想定外のトラブルから不安定になる周りの子どもの心理的安定についても、今後の保育環境を整えるうえでとても大きい成果といえる。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

公設民営の保育所としては、法整備等にも順次適応し、また、10月から始まった教育・保育料無償化についても随時運営主体である社会福祉法人とも情報交換を密に行い、大きな混乱もなくスタートすることができた。

引き続き、いわゆるグレーゾーンである発達に不安がある子どもは増加傾向にあり、子ども同士のトラブルは絶えず、また、そういう状況について当該子どもの保護者の受容につながらないなど、園の人的負担が大きくなるばかりである。今以上に健康課が実施している療育事業や教育課が実施している臨床心理士の派遣事業等との連携を強化し、久山町の保育所が信頼でき、安心できる場であること環境づくりを全体で行う必要性を感じる。

また、今年度の当初の待機児童は30人近くに上り、令和3年度の新設認可保育園の設立に向けて事業を進めていく必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	阿部 哲也
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？	5	A
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。 <input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？	2	D
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	2	
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 <input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 <input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	2	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	A
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了

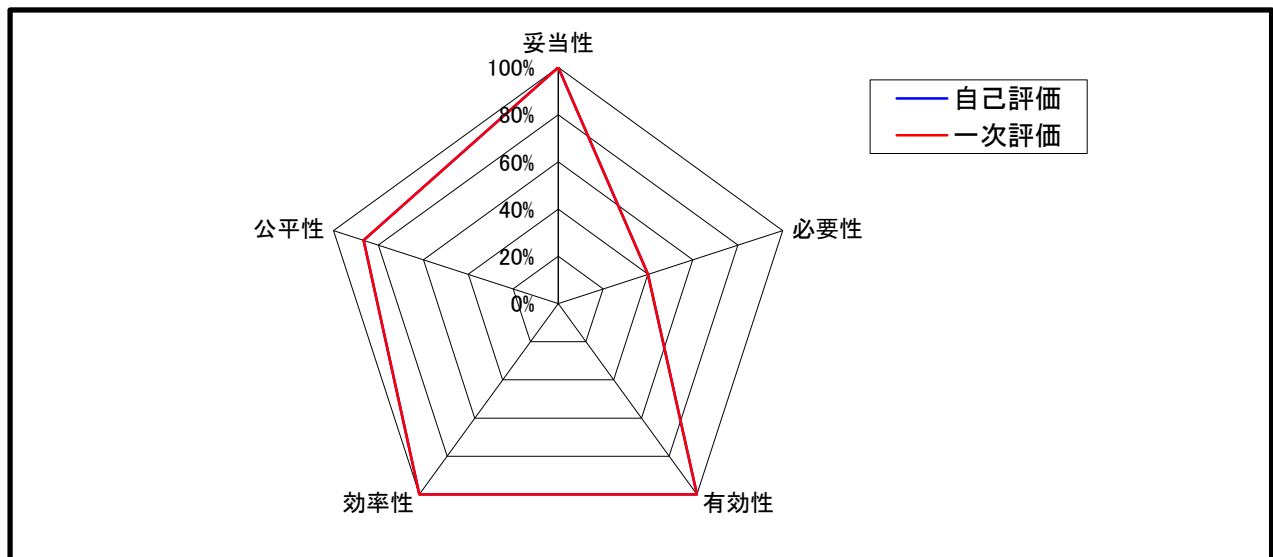


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

住民のニーズは高い。住民の増により待機児童も増加している。今後の対応として新設私立認可保育所の設立に向けて進んでいる。
 公設民営の保育所であるため、運営主体の社会福祉法人との連携は密にとっている。
 発達に不安がある子どもの増加等による保育士の人件費増や保育所運営単価の増による事業費の増加が大きくなってきている。
 今年度、課題の一つであった発達に不安のある子どものクールダウンの場所や相談室の部屋を増設し、保育環境の改善を行った。
 また、10月から始まった教育・保育料無償化については運営主体の社会福祉法人と密に情報交換を行うことで、大きなトラブルはなかった。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	稲永 みき
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

保育所運営については、社会福祉法人と密に連携を図り実施している。転入等による若い世代の増加により、待機児童が発生しているが、その対応策についても新設認可保育所を増やす方向で事業を推進している。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)

--